

事例
研究高齡者の活躍が
企業の未来を切り拓く

少子高齢化に伴う労働力人口の減少は、企業の人材不足を招く大きな問題となっています。本紙では、高齢者の積極的な採用により、問題解決に向けて取り組まれている企業をご紹介します。本事例を足掛かりとして、高齢者を活用した人材確保にお役立てください。

かっこうよくなくても「社会貢献」
平清警備 株式会社(清田区)
有限会社 平清警備(東区)

シニアなしでは仕事がまわせない
だから、シニアの働きやすさを追求

「弊社の主要業務である交通誘導警備、いわゆる2号警備は屋外の立ち仕事なので敬遠されがちなんです。長時間拘束されるし、暑さや寒さなど、自然の影響を直接受ける。だから人材確保の必要性から、高齢者を創業当初から受け入れてきたんです」と話してくださったのは、平清警備株式会社・参与の伊藤勝博さん。

企業説明会などに出席した際に聞こえてくるのが「施設警備」をしたいという求職者の声だそうだ。「屋内で、受付窓口に座って、お客様に案内をするというイメージなんでしょうけど。実際は安全確認作業などで、1日2万歩も歩くこともあります」。厳しい環境のなかで、周辺住民や歩行者の安全を確保していることで、「かっこうよくはないかもしれないけれど、確実に社会貢献を果たしているという自負はあります」と伊藤さん。

同社の従業員は160名。平均年齢は56.2歳。60歳以上の従業員は47.4%とほぼ半分を占める状況だ。定年を70

歳に設定し、その後75歳まで契約更新雇用制をとっている。ちなみに最高齢は79歳だという。シニアなくしては事業継続も難しいといっても過言ではないだろう。そのシニアができるだけ無理なく働き続けることができるように導入したのが、直行直帰制だ。これにより拘束時間の短縮を実現。夏季高温時、冬季厳寒期の健康体力保持のために必要資材等も支給しているという。

隊員の待遇改善が大きなテーマ
関係各所に働きかけていきたい

シニアに頼りっきりという状況を変える努力もしている。伊藤さんは言う。「8年前から毎年、新卒を採用しています……。しかし、離職率が高くて、3年で半分くらいの人離れていきます」。事業発注の金額が伸びない、だから隊員の給与も伸びないということのようだ。「それでも、毎年、定期昇給を実現してきたし、今後もさらなる待遇改善のために企業等、関係各所にもろもろ働きかけをしていく」と伊藤さん。「そうはいつても、いますぐ待遇改善が



写真左) 平清警備株式会社・外観
写真中) 代表取締役社長 鈴木 直幸氏
写真右) 主要事業は交通誘導警備

【社名】平清警備 株式会社
【所在地】札幌市清田区平岡7条3丁目8番22号
【創業】平成8年10月
【代表者】鈴木 直幸

【資本金】1,000万円
【従業員】160名
【営業内容】交通誘導警備・施設警備・
雑踏警備・巡回警備・列車見張

【グループ企業】有限会社 平清警備
【所在地】札幌市東区北32条東18丁目8-11
【代表者】島津 靖喜
【従業員】80名

できるわけではない。だから、どうしてもシニアに来て
 いただきたい。シニアの働く目的は人それぞれ。お金だ
 けではない人が多い。そんなシニアのひとり、阿部敬久
 さん（70歳）に話を伺った。阿部さんが入社したのは
 2011年。すでに10年、勤務している。

「40年働いた公務員を退職して、再就職しないでしたら
 体調が悪くなって。このままではダメになると思ったのが
 ここに入ったきっかけでした」（阿部さん）。働いているう
 ちに体調が元に戻り、それ以来、健康で働き続けていると
 のこと。阿部さんに、これから働いてみたいと考えている
 シニアに向けてコメントをいただいた。「仕事をしようと
 決めたなら、あれこれ選り好みせず、一歩踏み出し、と
 にかく働いてみるのがいいと思います。それまでの自分の
 経験などにもこだわらないで」。

伊藤さんも言う。「働くことで自分が健康になる、幸せ
 になる。そうすると周りも幸せになる。経験が豊富で人間
 力が高いシニアの方にはどんどん飛び込んできて欲しい。
 そうしてどんどん幸せになって欲しい」。

参与
伊藤勝博さん

札幌はいまインフラの修
 繕・再構築の時期。街のあち
 こちで工事が行われている。
 工事に交通誘導警備は欠かせ
 ない。「だから隊員の出動率
 は95%。言い方を変えると、
 『隊員が増えれば仕事が増え
 る』という状況です」。



阿部敬久さん（70歳）

勤続10年6か月。平清警備
 で働いて健康を取り戻したと
 いう。周辺住民の方に感謝の
 声をかけられると「自分の安
 全誘導が周辺の方々の安心に
 つながっているのだとモチ
 ベーションになる」と話す。

社労士からひとこと！



社会保険労務士・
 キャリアコンサルタント
 産業カウンセラー

小嶋 亜希子 さん

シニアだからこそ、細やかな心配りができる！

私の知り合いに警備員の方がいらっしや
 います。60歳で他社を定年退職なさって、
 なにもすることがない。3食自宅を食べる
 というのは、それは生活のギャップが大き
 いものではないでしょうか？「警備員＝若
 い人」とイメージを持たれがちですが、工
 事現場の近くをシニアの方が通る際に「た
 いした段差ではないけど、注意しなけれ

ば！」とわかるのは、同世代であるシニア
 だからこそです。

赤ちゃんを抱っこして、更に三歳くらい
 の子の手を引いているお母さんの足元のお
 ぼつかなさがわかるのは、同じくらいの年
 齢のお孫さんがいるシニアだったりするの
 です。警備の世界は思っている以上に、シ
 ニアに向いていると私は考えております。

高齢者雇用の求人募集は【就サポ】へ！

お申し込み・お問い合わせ

札幌で就活なら
就サポ 札幌市就業
 サポートセンター

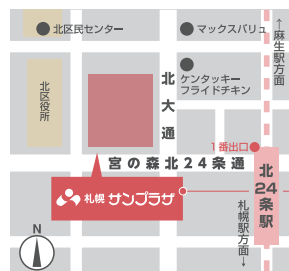
求人開拓室

☎ **011-708-7865**

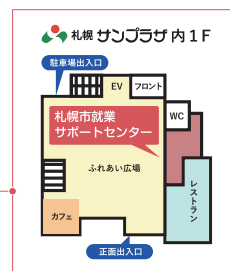
📠 **011-716-6811**

《受付時間》平日8:45～17:00（土・日・祝日・年末年始除く）

就サポサービス情報サイト <http://saposen.co.jp/>



札幌市北区北24条西5丁目 札幌サンプラザ1階 地下鉄南北線「北24条駅」1番出口より徒歩3分



さっぽろ市
 02-H03-21-2038
 R3-2-1317

札幌市就業サポートセンターでは、札幌市が委託する民間職業紹介事業者と
 ハローワークが共同で無料の職業紹介サービスを行っている全国で唯一の
 官民共同窓口です。職業紹介やカウンセリング、セミナーなどを組み合わせた
 多様な就労支援サービスを提供しております。